

令和5年度 学校教育アンケート（保護者用）

【 あてはまる・どちらかといえばあてはまる の割合（％） 】

		令和4年	令和5年	前年比±
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	88.5	90.2	1.7
2	子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。	90.8	91.3	0.5
3	子どもはあいさつ・礼儀・言葉づかいなどが正しくできるようになってきている。	87.5	85.4	-2.1
4	学校は子どもに基礎基本の学力が身につくようしっかり指導している。	92.4	96.3	3.9
5	子どもに人とかかわり話し合ったりする力が身につけてきている。	92.4	91.4	-1.0
6	子どもに「自分にはいいところがある」「自分は大切にされている」という自尊感情が育ってきている。	90.2	90.8	0.6
7	子どもに望ましい読書習慣が身につけてきている。	57.1	62.7	5.6
8	学校の宿題は質・量とも適切である。	89.1	80.5	-8.6
9	子どもは友だちと仲良く過ごすことができている。	95.6	96.2	0.6
10	学校はいじめのない学級づくりに取り組んでいる。	82.1	81.1	-1.0
11	子どもは生命の大切さを理解し人権を尊重する態度や社会ルールを守ろうとする態度を育てている。	91.9	90.8	-1.1
12	学校は健康な体力づくりに向けた教育活動によく取り組んでいる。	95.6	94.6	-1.0
13	学校は安全安心な学習環境の整備に向けた取組みを適切に行なっている。	88.0	87.0	-1.0
14	学校が保護者に配布する文書・事務連絡・通信等の内容は適切である。	97.3	96.8	-0.5
15	学校は保護者が子どもの様子について連絡したことに適切に対応している。	96.1	97.8	1.7
16	学校は地域と連携を図り不審者対策など児童の安全確保に向け適切に対応している。	87.5	84.3	-3.2
17	先生は子どものよさや努力をきちんと認めてくれる。	97.3	97.3	±0
18	先生は子どもに間違った行動があればそれを正し、子どもの成長につながる指導をしている。	93.5	94.1	0.6
19	通知票は子どもの学力や努力を適切に評価できるよう工夫されている。	92.4	88.7	-3.7
20	授業参観など保護者が来校する機会や回数は適切である。	92.9	93.5	0.6
21	学校が新しい教育課題（英語教育・SDGs・ICT活用）に取り組んでいるのはよいことだと思う。	89.2	95.7	6.5

【令和5年度 学校教育アンケート集計結果からの考察】

保護者の皆さまにおかれましては学校教育アンケート回答にご協力いただき、誠にありがとうございます。学校教育アンケートは、本校の学校教育目標『笑顔で「明るく 楽しく 元気よく」』の達成にどれだけ近づけているかを根拠を持って知り、本校教育の改善に役立てるためのものです。令和3年度よりスマートスクールの方針に則り、スマホやタブレットでQRコードを読み取り回答できるようになりました。これにより、回答や集計にかかる時間を短縮し、保護者も教員も子どもとまっすぐに向き合う時間を確保することがねらいとしています。

結果より（令和6年度に向けて）

- 1…「学校へ行くのが楽しい」の項目では90%以上が肯定的で、昨年度より改善が見られました。一方で、9%ほどの子どもが学校へ行くことに対して否定的な思いを持っているようです。すべての子どもたちが「学校に行きたい」と思える、魅力ある学校づくり、クラスづくりを進めていきます。また、今後も家庭との連携をしっかりと行い、子どもたちを見守っていきます。
- 4…「基礎基本の学力が身につくようしっかり指導している」の項目では96%以上が肯定的回答でした。前年度よりさらに良くなっており、学力の定着の成果がご家庭でも出ているのだと感じております。来年度に向けては、家庭学習においても日々の授業の成果が出せるように取組みを進めていきます。
- 7…「望ましい読書習慣が身についてきている」の項目は改善が見られるものの、ほかのアンケート項目と比べて、肯定的な部分は低い結果となっています。読書をは集中力や思考力、読解力の向上や語彙力や想像力を豊かにするなど、多くの効果が認められています。読書を習慣化するため、来年度からは朝の学習時間に「読書タイム」を設定し、文字に親しむ時間を確保します。
- 8…「宿題は質・量とも適切である」の項目では、昨年度と比べて肯定的回答で9%近くの低下が見られました。否定的な回答もある一方、「判断できない」と回答されている方もおられたことから、宿題の質・量の見直しを近隣の小学校との情報交換を行いながら、検討していきます。
- 15…「保護者が子どもの様子について連絡したことに適切に対応している」では、例年、肯定的な回答が高水準域ですが、今年度はさらに上がっていました。家庭と学校が協力体制を取れている成果だと考えています。学校として「子どもたちのために」という姿勢で来年度もご家庭とのチームワークを深めていきます。
- 16、19…「児童の安全確保に向け適切に対応している」「通知票は子どもの学力や努力を適切に評価できるよう工夫されている」の項目は、「判断できない」と感じておられる方の増加がありました。本項目については学校からの積極的かつ分かりやすい発信を行い、改善を図ります。
- 21…「新しい教育課題に取り組んでいるのはよいことだと思う」では、すべて学年における人権学習、中・高学年を中心とした英語専科教員による授業や、タブレット学習が成果として表れているのだと考えられます。

※今回のアンケート結果に基づいて、学校教育のさらなる充実を推進していきます。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。